

京田辺市都市計画マスタープラン改訂版(素案)に対するパブリックコメントの結果

パブリックコメント概要(結果)

- (1) 意見募集期間 平成23年1月28日(金)～平成23年2月28日(月)
- (2) 意見募集方法 パンフレットへの掲載ハガキ、閲覧場所にある募集用紙、Eメール
- (3) 意見提出者 48名(ハガキ45通、メール3通)
- (4) 意見の数 96件

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
1	1	市街化区域、市街化調整区域の図を公表すべし。	市街化区域、市街化調整区域を記した都市計画図は公表しており、市役所都市計画課窓口で閲覧・購入することができます。
2	1	現行計画からの変更点は何か。	現都市計画マスタープランの整備実績を検証した結果、公共施設などの既存ストックを活用し、各拠点と周辺地域などを連携させることを基本とした集約型都市構造を目指すことが重要と考えました。この集約型都市構造が改訂版の主な変更点です。
3	1	特徴あるまちに特化すべき。	本市の特性を活かした、成熟型、再生型都市を目指します。ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
4	1	基本目標に緑豊かで健康な文化田園都市とあるが、いったいこの京田辺のどこが田園都市なのか。	P32に記載しているとおり、大都市への高い利便性と優れた自然環境を兼ね備えています。したがって、本市は第3次京田辺市総合計画に即し、「緑豊かで健康な文化田園都市」を目指し、整備を進めています。
5	1	住民の暮らしにやさしく、かつ若者がとどまれる街の構造をつくり、古いもの、新しいものが共存していける「まち」づくりを期待しています。	P33の「快適で住んで楽しいまちづくり」にも記載しているとおり、多世代が交流するとともに、今まで整備してきた既存ストックを活用した再生型のまちづくりを目指していきます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
6	1	<p>市民生活に直結した下記3点の提示を早急をお願いしたい。</p> <p>若年層が住みやすい街づくり。 子育て補助 保育施設の充実。医療補助、etc。 老人も住みやすい街づくり。 年金で入所できる介護付老人マンション建設。 文化財保全施策。 これは待った無し。</p>	<p>P33「快適で住んで楽しいまちづくり」にも記載しており、多世代が交流するコミュニティ活動が活発で住んで楽しいまちづくりや、新旧の文化が融合するまちづくりを目指していきます。</p> <p>また、P72、P83、P94「歴史資源と様々な自然を活かしたレクリエーションづくり」に記載しているとおり、各地域とも歴史資源を保全していきます。</p> <p>ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>
7	1	<p>自然を創造した、人間との共生都市。</p>	<p>P33「心にうるおいのあふれるまちづくり」に記載しているとおり、良好な自然環境や住環境、美しい景観と共存したまちづくりを目指していきます。</p>
8	1	<p>中長期的な都市計画の策定に際し、職住両面からの将来像を明確にし、優良企業の誘致や宅地開発の法整備を盛り込む必要がある。</p>	<p>P34の「将来の都市構造」にも記載しているとおり、職住近接のまちづくりを目指しています。</p> <p>また、P45の「工業地の整備方針」に、工業系土地利用のありかたとして、企業誘致を盛り込んでいます。</p> <p>なお、従来から進めておりました開発行為の行政指導を、平成20年4月1日から、「京田辺市開発行為等の手続等に関する条例」を施行し、適切な開発指導に取り組んでおります。</p>

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
9	1	<p>J R京田辺駅と近鉄新田辺駅を中心としたまちづくりの考え方には疑問を感じる。</p>	<p>第3次京田辺市総合計画では、本市の都市機能エリアを以下のように定めており、都市計画マスタープランでもその方針に基づき、都市計画に関する基本的な方針を定めています。</p> <p><都市機能エリア：></p> <p>近鉄新田辺駅及びJ R京田辺駅周辺については、本市の中核的な拠点として、市の玄関口にふさわしい景観の形成を図りながら、広域的な観点に立った商業・業務・サービス機能などの集積と都市基盤の整備を図ります。</p> <p>J R松井山手駅周辺については、本市の副次的な拠点として、統一感のある魅力的な景観の形成を図りながら、大阪都市圏への広がりを意識した、市北部地域の市民生活を支える商業・業務・サービス機能などの集積を図ります。</p> <p>近鉄及びJ R三山木駅周辺については、本市の副次的な拠点として、また関西文化学術研究都市の北の玄関口として、「大学を積極的に生かしたまち」のシンボルとなる景観の形成や土地区画整理事業による基盤整備を進めながら、市南部地域の市民生活を支える商業・業務・サービス機能などの集積を図ります。</p>

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
10	1	近鉄新田辺、J R松井山手駅周辺に環境を阻害する施設が建たないよう土地利用に関しての方針をしっかりとって欲しい。	<p>P34近鉄新田辺駅周辺やJ R松井山手駅周辺は都市基盤が整備され、商業・業務施設が集積する拠点として位置づけているところです。</p> <p>より細やかな土地利用については、地区計画の導入によるまちづくりを進めています。また、市民が中心となり、ご指摘にあるような課題解決を図っていくため、P99「まちづくり協議会」など市民参画の仕組みづくりを記載しています。</p> <p>ご意見を踏まえ、『まちづくり協議会の最後の文章を、『～仕組みの整備を検討します。』を『～整備を推進します。』に変更します。</p>
11	1	関西文化学術研究都市の整備促進と合わせ、統合を進め将来人口30万人程度の人口を目指し、都市機能を充実させて欲しい。 (精華、木津川、八幡等の各市町間)	近隣市町との連携をとる中で、今回の都市計画マスタープラン改訂版では、10年後を目標としており、将来人口8万人に向けてのまちづくりを実施していきます。
12	1	現状での急速な人口増加は、長期的な生活空間と見た場合このままでよいのか。	<p>現在の人口増加は、北部地域などでの計画的な住宅地開発によるものであり、今後も南部地域での計画的な住宅地開発により人口の増加が進みます。</p> <p>なお、将来の人口フレーム8万人は、現在の市街化区域で実現出来ると考えています。</p> <p>この人口増加についても、長期的な視野に立って、進めているものであり、市の均衡ある人口形態が整うものと考えております。</p>

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
13	1	日本の人口は減少しているにもかかわらず将来人口フレームを1.25倍にしているのは甘い見通しではないか。	<p>今回改訂を行う都市計画マスタープランの目標年次は、平成32年と定めております。従いまして、全国的な傾向として人口減少になっておりますが、北部や南部の住宅地開発などは進められており、当分の間人口増加は続くものと考えております。</p> <p>また、「第3次京田辺市総合計画」では、将来の人口フレームを8万人と定めており、当該都市計画マスタープランもその内容と整合したものとしております。</p>
14	1	<p>市街化区域で市街化が進んでいない所は、他の区域に変更すべきでないか。</p> <p>市街化調整区域でも、市街化を促進した方がよい所があるので、それらの区域は市街化区域に変更した方がよいのではないか。</p>	<p>今回改訂する都市計画マスタープランは、第3次京田辺市総合計画のまちづくりの考え方を踏襲する中で、現在の市街化区域を基本として都市計画の方針を定めております。</p>
15	1	<p>第二京阪道路を活用し、産業系・商業系土地利用を積極的に推進することにより、まちの活性化に有効に結びつけてほしい。</p>	<p>P37の都市の骨格「産業流通拠点」などに記載しているとおり、第二京阪道路などの良好な交通環境を活かした産業系、商業系の土地利用の活性化を目指していきますが、具体的には個別の施策により実現化を図ることとしています。</p>

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
16	1	9つの鉄道駅を有効活用する都市計画を盛り込んで欲しい。	<p>本市は、大都市の近郊に位置するとともに、市の中心部に鉄道が通っており駅が9つも整備されている恵まれた環境にあります。この恵まれた交通環境を活かし、駅を中心とした拠点整備を図っていきます。</p> <p>9つの駅にはそれぞれ特性があることから、その特性を活かし、P40に記載しているとおり、近鉄新田辺駅とJR京田辺駅周辺は市の生活拠点となるまちの中心ゾーン、JR松井山手駅、近鉄三山木駅及びJR三山木駅は、地域の生活拠点となるまちの副拠点ゾーン、JR大住駅、近鉄興戸駅及びJR同志社前駅は、近隣の生活拠点となる近隣生活サービスゾーンを目指していきます。</p> <p>なお、近鉄宮津駅については近鉄三山木駅から近く、周辺住民の方の生活拠点が近鉄及びJR三山木駅周辺であることから、拠点としての位置づけは行っておりません。</p>
17	1	シネマ映画館などを誘致してはどうか。	<p>P40「まちの中心ゾーン」に記載しているとおり、駅を中心として商業・業務など多様な施設が立地し、人々が集まるにぎわいのある空間形成を目指します。</p> <p>ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>
18	1	薪赤池一帯をほ場整備又は市街化区域へ編入し、一体的な土地利用を図って欲しい。	<p>新たに市街化区域の拡大は今回の都市計画マスタープランでは位置づけしておりませんが、当地域一帯は田園集落と農地の活用ゾーンとしております。</p>

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
19	1	学研都市機能を大住へ拡大し、学力のまちとすべき。 小学校、中学校の増床と設備充実（英語、理科系）すべき。 北部を学力強化特区とすべき。	P43「文化学術研究ゾーン」に記載しているとおり、関西文化学術研究都市につきましては、関西文化学術都市の整備方針に基づき整備していくことになります。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
20	1	学研都市機能、歴史遺産を活用した、学研エリア都市構想の策定推進。	P43「文化学術研究ゾーン」に記載しているとおり、関西文化学術研究都市につきましては、関西文化学術都市の整備方針に基づき整備していくことになります。
21	1	最近ミニ開発が多く、緑がない住宅が増えていることから、緑豊かなまちを目指すのであれば建ぺい率を見直すべきではないか。	P47ページ「従来からの市街地」に記載している通り、地区計画制度などの活用により、良好な住環境の保全や形成を図るとともに住民主体のまちづくりをめざします。 なお、従来から進めておりました開発行為の行政指導を、平成20年4月1日から、「京田辺市開発行為等の手続等に関する条例」を施行し、適切な開発指導に取り組んでおります。
22	1	大住草内線の整備が難しいのであれば、既存道路の拡幅等により安全な生活道路を整備して欲しい。	P49「基本方針」に記載しているとおり、将来の交通需要に対応するため、都市計画道路の決定や変更を今後検討していきます。 また、P82「歩いて暮らせる快適なまちづくり」に『安心して歩ける道路空間の整備を進めます。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ、『歩車道分離などにより、安心して歩ける道路空間の整備を推進します。』に変更します。他の地域も同様に変更します。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
23	1	大住草内線は必要であるか。計画を見直すべきである。	P49「基本方針」に記載しているとおり、将来の交通需要に対応するため、都市計画道路の決定や変更を今後検討していきます。
24	1	交通量が多い道路はもっと拡張、整備すべきではないか。	歩行者や自転車の安全性のため歩車道分離は重要な取り組みであり、そのための道路拡幅整備は順次進めておりますが、一方でP51「(3)モビリティ・マネジメント、交通需要マネジメント」に記載しているとおり、地域特性を考慮し、自動車交通量の削減や分散化を図るため、地域に応じた交通需要マネジメントを推進することも必要であると考えております。
25	1	道幅が狭く歩道がない。	P49「基本方針」に記載しているとおり、歩道の整備等を推進し、安全で快適な道路空間の創出に努めます。
26	1	自転車道が活用されていない。	P50「(2)その他道路関連施設」に記載しているとおり、既存道路を活かした自転車ネットワークの計画について検討します。
27	1	J R同志社前までの複線化が必要ではないか。	平成10～13年片町線高速化輸送力増強事業を実施し、大住駅の2面2線、京田辺駅の2面3線化及び橋上駅舎など、将来複線化を見据えた取り組みも行っております。 ご指摘の件については、P51「(1)鉄道」に、『～J R片町線の全線複線化など輸送力の増強について～。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ本文を、『～J R片町線の全線複線化の実現など輸送力の増強について～』に変更します。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
28	1	高齢化社会が進んでいき、自動車が増加するののかも踏まえて、これが無駄な道路行政とならないように。	P51「基本方針」に記載しているとおり、自動車中心ではなく、公共交通や自転車、徒歩を中心とするまちづくりを検討していきます。そのため、幹線道路の整備は将来の交通需要に対応して整備の検討が必要と考えております。
29	1	駅周辺に公共駐車場があればどうか。	本市は、電車等の公共交通の利便性が高いことから、P51「(3) モビリティ・マネジメント、交通需要マネジメント」に記載しているように、自家用車から公共交通等の交通手段への転換が図れるよう、交通体系のあり方について検討を進めていきます。
30	1	J R京田辺駅のホームに待合室を設置して欲しい。	P51基本方針に記載しているとおり、鉄道各駅については、誰もが安心して利用できる利便性の向上を、関係機関に要請します。
31	1	J R松井山手駅以南の複線化を実現して欲しい。	平成10～13年片町線高速化輸送力増強事業を実施し、大住駅の2面2線、京田辺駅の2面3線化及び橋上駅舎化など、将来複線化を見据えた取り組みも行っております。 ご指摘の件については、P51「(1) 鉄道」に、『～J R片町線の全線複線化など輸送力の増強について～。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ本文を、『～J R片町線の全線複線化の実現など輸送力の増強について～』に変更します。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
32	1	J R松井山手駅～京田辺間の複線化を実現して欲しい。	平成10～13年片町線高速化輸送力増強事業を実施し、大住駅の2面2線、京田辺駅の2面3線化及び橋上駅化するなど、将来複線化を見据えた取り組みも行ってまいります。 ご指摘の件については、P51「(1)鉄道」に、『～J R片町線の全線複線化など輸送力の増強について～。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ本文を、『～J R片町線の全線複線化の実現など輸送力の増強について～』に変更します。
33	1	J R松井山手駅以南の複線化を実現して欲しい。 当面は、学研都市線の全ての電車の奈良駅迄の延伸。	平成10～13年片町線高速化輸送力増強事業を実施し、大住駅の2面2線、京田辺駅の2面3線化及び橋上駅化するなど、将来複線化を見据えた取り組みも行ってまいります。 ご指摘の件については、P51「(1)鉄道」に、『～J R片町線の全線複線化など輸送力の増強について～。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ本文を、『～J R片町線の全線複線化の実現など輸送力の増強について～』に変更します。
34	1	「誰もが歩いて暮らせる都市構造」として、公共交通の充実を望みます。	P51「(2)バス」に記載しているように、バス交通については、今後も「バス交通等検証委員会」で検証を行い、公共交通の充実を図ってまいります。 また、本市では自家用車から公共交通等の他の交通手段への転換が図れるよう、交通体系のあり方について検討を進めてまいります。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
35	1	「心にうるおいのあるまち」「自動車を使わなくても生活できる誰もが歩いて暮らせる都市構造」を実現するため、馬（特にドサンコ）の導入を検討していただきたい。	本市の方針としては、鉄道やバスなどの公共機関を活用した、歩いて暮らせるまちづくりを目指しています。 その他ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
36	1	河川を有効活用する都市計画を盛り込んで欲しい。 河川沿いをサイクリングができる遊歩道にすれば、京田辺市独自の魅力あるまちづくりの一つになるのではないか。	P53「（２）その他の公園や緑地」に河川沿いなどを利用した水と緑のネットワークについて記載しているところを、市民の憩いの場創出の観点から貴重なご意見と認識し、関係する表現を『～水と緑のネットワークの形成を検討します。』から、『～水と緑のネットワークの形成を推進します。』に変更します。 なお、具体的には個別の計画を検討する中で実施したく考えております。
37	1	公園がない。	P53「（１）都市公園など」に記載しているとおり、地域のバランスを考慮し、公園の少ない地域での整備を検討します。
38	1	天井川を利用して木津八幡線を横断する様に道が欲しい。	天井川は治水上の観点から問題であるため、切り下げ要望を京都府に行っております。従いましてご指摘のことについては困難と考えます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
39	1	年配者と子供との接点として、「じいちゃん、ばあちゃん保育園」を作って欲しい。	P56「(1)教育・保育施設」に記載しているように、保育所の計画的整備を図ります。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
40	1	京田辺市は、医療の面で市民の生活の事をあまり考えていない。 テニスコートやサッカーボール等の公園ばかりでなく、老人ホームとか病院の新設をする方が先だと思う。 医療ゾーンについてもっと考えるべきではないか。	P56「(3)その他施設」に記載しているとおり、医療施設の整備につきましては、関連計画である「高齢者保健福祉計画」に基づき整備を推進していきます。
41	1	北部地域、南部地域等での山林や空地の有効利用を考えたい。 劇場や映画の上映をする、文化向上のための施設建設を望みます。 墓地が少ないので、市からの提供を望む。	P56「(3)その他施設」に記載しているとおり、文化ホールを備えた生涯学習拠点施設の整備を検討します。 その他のご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
42	1	南部に文化施設が欲しい。	P56「(3)その他施設」に記載しているとおり、文化ホールを備えた生涯学習拠点施設の整備を検討します。
43	1	他都市に依存している火葬場を止め京田辺市自前の火葬場を整備すればどうか。	現在、市内に火葬場を建設する計画はありませんが、今後の社会的ニーズや動向は注視するべきと考えております。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
44	1	観光客などの泊まる場所や温泉施設が欲しい。(宿泊施設がないのは欠陥都市である)	ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
45	1	観光資源をピーアールするとともに、観光タクシーを活用するなど観光振興を図って欲しい。	P57「(1)自然・歴史景観形成」に記載しているように、本市には歴史資源や自然資源が豊富にあり、それらを貴重な観光資源として活用していく方針です。 なお、ご意見を踏まえ、本文の「～道標の設置などの整備を検討します。」を「～整備を推進します。」に変更します。
46	1	観光資源をピーアールし、観光振興を図って欲しい。	P57「(1)自然・歴史景観形成」に記載しているように、本市には歴史資源や自然資源が豊富にあり、それらを貴重な観光資源として活用していく方針です。 なお、ご意見を踏まえ、本文の「～道標の設置などの整備を検討します。」と記載しているところを「～整備を推進します。」に変更します。
47	1	山手幹線をつなぐ一休寺、同志社大学を京田辺市の中心となるシンボルである。国内国際的に知名度は高い。観光文化都市としての将来土地利用の中心となることを市民として提案する。 同志社大学の観光地化 一休寺を活用した歴史ゾーンの開発	P43「文化学術研究ゾーン」に記載しているとおり、田辺地区(同志社大学)については、関西文化学術都市の整備方針に基づき、周辺の自然環境や集落環境と調和した市街地整備を誘導していくこととしております。 P57「(1)自然・歴史景観形成」に記載しているように、本市の豊富な歴史資源や自然資源を貴重な観光資源として活用していきます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
48	1	車のための道路を作るより、人のための道路整備をして欲しい。	道路は将来の自動車交通需要に対応して整備の判断が必要ですが、ご指摘の高齢者や障害者にとってのバリアフリーなどについては、P59のバリアフリーなどの推進に、その取り組みを記載しております。
49	1	車イスの人が何処でも行ける段差のない道がもっとあるといい。	P59「(1)バリアフリーなどの推進」に記載しているとおり、高齢者や障害者にとってやさしい空間となるよう、駅前広場や歩道などのバリアフリー化を推進します。
50	1	危険な自転車をもっと取り締まって欲しい。	P59「(1)バリアフリーなどの推進」に記載しているように、啓発活動など交通安全対策を進め、安心して歩ける道路空間の整備を進めます。 なお、『～道路空間の整備を進めます。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ、『～道路空間の整備を推進します。』に変更します。 また、取り締まり強化については田辺警察署に要請しております。
51	1	自然災害に強い、安心、安全なまちづくり計画として欲しい。ハザードマップを大切にしたい。	P59, P60の各整備方針に記載しているとおり、自然災害や都市災害に強い、安全、安心なまちづくり計画を目指します。その中では、ハザードマップなどを活用し、日頃から市民の防災意識を高めます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
52	1	道路事情の改善が伴っておらず、駅と結ぶ道路が少なく、有った道は道幅が狭く、行き違いに困っており、決して安全な状態では無い。 JR松井山手駅と旧集落を結ぶ道路を改善し、繋がりを強化してほしい。	P68「安全・安心・快適に住み続けられるまち」に記載しているとおり、田園集落とJR松井山手駅がある新市街地の連携強化を図ります。
53	1	「誰もが歩いて暮らせる都市構造」を目指すうえでも、JR松井山手駅周辺の商業施設を充実して欲しい。	P69～P70にありますように、JR松井山手駅周辺地域は本市の副拠点に位置づけ、人々が集まりにぎわいのある商業・業務機能の充実を誘導するため、用途地域や地区計画を定めております。
54	1	JR松井山手駅周辺の商業施設を充実して欲しい。	P70「北部地域の拠点づくり」に記載しているとおり、JR松井山手駅周辺の商業の充実を図ります。
55	1	大住工業専用地域の府道八幡木津線沿いをコンビニなどが立地できるよう、工業又は準工業地域に変更して欲しい。	P70「大住工業地区の整備」に記載しているとおり、工場従事者や来街者に対する沿道利用を検討します。
56	1	名産品の販売所や観光案内所を駅前に作って欲しい。	P70「北部地域の拠点づくり」などに記載しているとおり、各地域の拠点では、商業・業務機能の充実を図ります。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
57	1	山手幹線での土日の渋滞がひどいので改善して欲しい。	P51(3)モビリティ・マネジメント(MM)、交通需要マネジメント(TDM)に記載しているとおり、主要幹線道路の交通量の増大に対応するため、自家用車から他の交通手段への転換が図れるよう、交通体系のあり方について市民への啓発活動や教育の充実を推進し、市民と企業、行政が一体となりモビリティ・マネジメント(MM)について検討します。
58	1	虚空蔵谷川の整備を行い「蛍が飛び交う田園風景」を実現して欲しい。	P71「河川などの整備」に記載しているとおり、河川に水と緑のネットワークの形成を推進します。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
59	1	近鉄新田辺駅東側から松井山手方面へ抜ける幹線道路整備を行うなど、新田辺駅東側の発展を促す計画案をつくってほしい。	P81「まちの中心ゾーンづくり」に記載しているとおり、近鉄新田辺駅東側では、駅前広場や(都)新田辺草内線の整備を図るとともに、にぎわいづくりのための商店街活動を支援します。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
60	1	新田辺東側商店街を、石畳や旅籠風の街並み商店街とし、一休寺と結ぶ歴史街道「一休さん寺町ゾーン」を提案したい。	P81「まちの中心ゾーンづくり」に記載しているとおり、近鉄新田辺駅東側では、駅前広場や(都)新田辺草内線の整備を図るとともに、にぎわいづくりのための商店街活動を支援します。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
61	1	近鉄新田辺駅東側の整備を図り商業を充実して欲しい。	P81「まちの中心ゾーンづくり」に記載しているとおり、近鉄新田辺駅東側では、駅前広場や（都）新田辺草内線の整備を図るとともに、にぎわいづくりのための商店街活動を支援します。
62	1	歩行者の安全と安心を考えると、近鉄新田辺駅とJR京田辺駅の間に階上通路を設置すべき。商店も出来ればより駅の周縁はもっと繁栄する、そして店舗を出す商店には地代賃にすれば市の収入源となる。100年返済しても近鉄新田辺駅を高架駅にすることを望む。	当該区間については、土地区画整理事業により歩車道分離を図った街路を整備しており、今後は歩行空間の適正な維持に努めてまいります。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
63	1	快適で住んで楽しいまち作りを実現する為に環境の整備という事で、近鉄新田辺駅東側の整備を図り商業を充実して欲しい。	P81「まちの中心ゾーンづくり」に記載しているとおり、近鉄新田辺駅東側では、駅前広場や（都）新田辺草内線の整備を図るとともに、にぎわいづくりのための商店街活動を支援します。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
64	1	新田辺駅周辺を再開発すべきではないか。	P81「まちの中心ゾーンづくり」に記載しておりますが、駅の西側地区は土地区画整理事業により一定の市街地は形成されており、駅東側については駅前広場や（都）新田辺草内線の整備を図るとともに、にぎわいづくりのための商店街活動を支援します。
65	2	八幡木津線を安心して歩けるようにしてほしい。	P82「歩いて暮らせる快適なまちづくり」に記載しているとおり、（主）八幡木津線については、歩行者が安心して通行できる機能の向上を図ります。具体的には通過交通を山手幹線へ誘導するよう関屋や茶屋前交差点改良を府に要請しております。
66	1	八幡木津線と一休ヶ丘線が交差する信号より、枚方方面に向かう新田辺一休ヶ丘線に数メートル溝蓋がなく、歩道はありませんので、安心して歩けるようにしてほしい。	P82「歩いて暮らせる快適なまちづくり」に『安心して歩ける道路空間の整備を進めます。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ、『歩車道分離などにより、安心して歩ける道路空間の整備を推進します。』に変更します。他の地域も同様に変更します。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
67	1	中部地域だが、夜道暗い所があるなど危険なので、安心して歩ける道にして欲しい。	P82「歩いて暮らせる快適なまちづくり」に『安心して歩ける道路空間の整備を進めます。』と記載しているところを、ご意見を踏まえ、『歩車道分離などにより、安心して歩ける道路空間の整備を推進します。』に変更します。他の地域も同様に変更します。
68	1	中部地域は宅地開発により田園風景がなくなることは寂しく思う。	P83「歴史的資源と様々な自然を活かしたレクリエーションづくり」に記載しているとおり、地域内の自然を保全し、その周辺も含めた景観の保全に努めていきます。
69	1	一休寺周辺の景観保全に取り組んで欲しい。	P83「歴史的資源と様々な自然を活かしたレクリエーションづくり」に記載しているとおり、一休寺周辺など歴史資源を保全し、その周辺も含めた景観の保全に努めます。
70	1	TPPに参加すると山間地は放棄される田畑が増え、治水や防災の面で安全性が減じる方向も考えて下さい。	農業放棄地については、本市でも問題と考えており、P90「山間地区の豊かな地域資源の活用」に記載しているとおり、農地の保全と農業放棄地の解消を図ることとしております。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
71	1	<p>南部地域の具体的な活性化（案）や、雇用の創出の具体的な（案）が示されていない。</p> <p>例えば、私立小学校の駅前付近への誘致 自然を残しながら農業へ進出している企業とのコラボで雇用と自然の両立 山林を利用して職業訓練をして農業や林業にたずさわらず職業人の育成をして京田辺市はもとより、吉野 e t c に「人」をうりこむなど人、物、金そして育成をする など</p>	<p>南部地域の特性は、豊富な自然や歴史資源と優良な農地があげられます。これらの特性を活かし、P93「山間集落などの整備」に記載しているとおり、都市近郊農業の場としての保全や、P94「歴史的資源と様々な自然を活かしたレクリエーションづくり」に記載しているとおり、自然や歴史資源の観光資源としての活用を具体的な活性化策として上げています。</p> <p>ご指摘のように南部地域では雇用創出に向けた具体的な産業活性化策は示しておりませんが、同志社大学内のD-eggなどでは、産・学・公連携による新産業創出に向け研究・開発がされています。今後はそれら研究成果が地域に根をおろす過程でいただいた意見を参考に、施策検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
72	1	<p>三山木駅は人口が少なそうだが副拠点としてなりたつのか。北部、中部、南部の人口をマスタープランに記入して欲しい。</p>	<p>南部地域では、現在人口は少ないが、三山木地区特定土地区画整理事業や同志社山手地区のまちづくりが進められており、今後の住宅建設により人口が増加する地域であると共に、市の副拠点としての特性を有しています。</p> <p>将来の人口8万人については、市域全体で算出しているものであり拠点毎に算出したものではありません。</p>

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
73	1	全国的に知名度がある同志社大学との協働、知名度を活かしたまちづくりがキーポイントとなるのではないかと。	P93「関西文化学術研究都市の整備、田辺地区」に記載しているとおり、同志社大学と地域住民の交流を深め、まちの活性化を図ります。 なお、「京田辺市と同志社大学、同志社女子大学および同志社国際中学校・高等学校との連携協力に関する協定書」を締結し、京たなべ・同志社ヒューマンカレッジなどの取り組みを進めております。
74	1	普賢寺川をもっときれいにし、ハイキングや子供が水遊びをできるような川に整備して欲しい。 (危険がどうかを判断してからになります。大雨の後しか水位は上がらない)	P93「公共下水道や河川などの整備」に記載しているとおり、河川については、河川改修などにより水と緑のネットワークの形成を推進します。 なお、具体的には個別の計画を検討する中で実施したく考えております。
75	1	大きくなりすぎた自治会などのコミュニティ単位を見直してはどうか。協議員は年齢制限を定めて欲しい。	P97「まちづくりにおける市民と行政の役割」にあるように、コミュニティ単位の見直しなどについても、市民と行政が協力し進めていくものと考えます。
76	1	新田辺草内線の田辺高校から新田辺駅までは非常に危険な状態であり、優先的に整備を行い安全の確保をすべきである。	P102「道路」に記載しているとおり、重点的に整備を進める区間としています。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
77	1	子供達が安全に通学できる様、同志社山手から、三山木小学校、幼稚園に通じる道（南田辺三山木駅前線）を1日も早く開通させて欲しい。	P102「道路」に記載しているとおり、重点的に整備を進める区間としています。 ご指摘のことは本市としても十分認識しております。一日も早い開通に向け努力いたします。
78	1	どのような整備を行っていくのか具体的な面を詳しく記述しなければわからない。現在、市はどのような事を行っているかをもっと具体的に示して欲しい。	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものであり、具体的な施策については、個別に決めていきますので、都市計画マスタープランでは掲載しておりません。
79	1	計画を実行するための具体的な説明や提案がないのではないか。	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものであり、具体的な施策については、個別に決めていきますので、都市計画マスタープランでは掲載しておりません。
80	1	誰もが歩いて暮らせるまちを目指すのであれば、商業・医療・福祉の3つが連携できているかの調査が必要だと思う。	ご指摘のように、ハード面の都市計画だけではまちづくりは達成できません。 ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
81	1	近隣市町の都市計画プランとの連続性が図れているのか。	P1に記載しているとおり、広域に関する上位計画を踏まえ作成しております。特に本市との関連が深い八幡市とは、綴喜都市計画区域（P1に記載している「綴喜都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」）に含まれており、また精華町や木津川市とは関西文化学術研究都市に含まれ、それぞれ連続性、関連性を持った計画としております。
82	1	土地開発はやめ、教育、福祉にもっと力を入れて欲しい。	本市では、道路等の基盤整備が未整備の地区について、利便性や安全性向上を図るため整備を実施しています。 その他のご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
83	1	地域の特色を活かしたクラスター構造について下記のことを考えました。 生産年令人口の増減と新陳代謝 回遊できる街の構造 誰もが安心して地面を歩けるゾーン 災害時の設備（トイレ・水etc） ハザードマップとの整合性	クラスター構造は、本市の特性を活かした集約型都市構造を実現するための具体的なイメージで、成熟型、再生型都市を目指してまちづくりを実施していきます。 ご意見については、若年世帯の定住化や安全安心のまちづくりなど幅広い貴重な内容であり、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
84	1	工事の時間が長いので車が走りにくい。	工事期間中は安全性を最優先に進めており、ご迷惑をおかけしていると思いますがご理解をお願いします。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
85	1	竹藪を減らして欲しい。	ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
86	1	違法に放置している看板を取り締まって欲しい。	屋外広告物につきましては、現在、屋外広告物法の違反広告物等に関して定期的に指導及び簡易除却を行っています。今後につきましても、定期的に巡回及び指導を行ってまいります。
87	1	次を提案します。 宝生苑の一般公園化、そして宝生苑、月読神社、図書館、虚空蔵谷川堤一円の広域公園化、景観整備 上記と諏訪ヶ原公園とを結ぶ散策路の整備、周囲田園風景の保全 木津川堤沿いの不良建築物（廃品処理場）の撤去、手原川川口西岸蓮畑の再生と維持支援（景観保全） 河川、農業用水路の清掃、ボランティア活動を当てにしない、市予算による清掃隊の組織と計画的実行（具体的な活動を通して地域住民の協力を募る）	ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
88	1	同志社の学生の意見を聞くのは良いが、何れ地方へ帰ってしまうので、理想像は聞いても良いが、現実的にはどうか？	同志社大学は本市のまちづくりパートナーであり、そこで学び、また本市で活動する学生の意見も本市のまちづくりにとって有用であると考えています。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
89	1	陸上自衛隊祝園弾薬支所の影響を計画に記載しなければならないのではないか。現在もイノシシも人も出入り自由な危険な施設であり、市として実態を把握し対策を考えて欲しい。	都市計画マスタープランは都市計画に関する基本的な方針を示すものであり、いただきましたご意見については、本市の都市計画マスタープランに反映できませんが、担当所管課にその内容を報告させていただきます。
90	1	西神屋地区に集会所を作って欲しい。	ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
91	1	J R片町線の表示は、J R学研都市線の方が適切ではないか。	J R学研都市線は愛称であり、正式名称はJ R片町線であるため、J R片町線と表記しております。
92	1	我が家の家の横のミニ公園の土地を払い下げして欲しい。	ご指摘のミニ公園は薪長尾谷公園と思われませんが、その場所は都市公園法により本市が管理している公園であり、払い下げをすることは出来ません。
93	1	マスタープランをもう少し読んでみようと思える工夫はできないでしょうか。	今回の都市計画マスタープラン改訂に伴い、現在のマスタープランから、重複している内容をまとめるなど、できるだけ読みやすい文章としています。また、見やすさを考えシンプルな構成としています。

No.	件数	意見の概要	意見に対する考え方
94	1	説明が分かりやすく見やすいが、少しもったいない気がする。他にお金のかけ方があるのではないか。	市民の方々にわかりやすくするためにカラー刷りなど工夫をしておりますが、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
95	1	アンケート結果も公表して欲しい。	パブリックコメントの内容については、その概要と市の考え方を公表しています。